

デーリー東北  
2020年(令和2年)10月22日(木曜日) (16)

# ご当地ヒーロー大活躍

## 「東北英雄阿弓流為」上映会

### アクションクラブ「隼風」制作

三沢

三沢市のアクションクラブ「隼風」代表の柏崎博志さん(55)原案のご当地ヒーロー「東北英雄阿弓流為」の映像作品が完成し、18日、同市のバー「ムーンリバー」で上映会が行われた。柏崎さんは「思った以上に良くできたので次への自信になった。作品を見て制作にも興味を持ってもらいたい」と話す。

(柴田佳弥)

0人が作品を鑑賞。午後3時半からの上映では作品が終わると、観客から大きな拍手が沸き起こった。主人公役を務めたHAYATEさん(23)は取材に「子どもたちに憧れてもらえようという思いで映像を作ろうと思っ

た。作品は映像制作を志す若者に活躍の機会をつくり地域を盛り上げようと企画。八戸工業大の学生を中心に組織する「ヒーローバスプロジェクトin陸奥」が協力し、約1年半かけて完成させた。「阿弓流為」は、朝廷の東北侵攻に抵抗した蝦夷のリーダーがモチーフ。主人公がヒーローに変身して、敵と戦いながら仲間を守る。八戸市の種差海岸や館鼻岸壁朝市、三沢市のバーなど県南地方で撮影。10分前後の動画作品4話に編集した。

同日午後、3回に分けて上映が行われ、一般客や関係者ら約130人が作品を鑑賞。午後3時半からの上映では作品が終わると、観客から大きな拍手が沸き起こった。主人公役を務めたHAYATEさん(23)は取材に「子どもたちに憧れてもらえようという思いで映像を作ろうと思っ

た。作品は映像制作を志す若者に活躍の機会をつくり地域を盛り上げようと企画。八戸工業大の学生を中心に組織する「ヒーローバスプロジェクトin陸奥」が協力し、約1年半かけて完成させた。「阿弓流為」は、朝廷の東北侵攻に抵抗した蝦夷のリーダーがモチーフ。主人公がヒーローに変身して、敵と戦いながら仲間を守る。八戸市の種差海岸や館鼻岸壁朝市、三沢市のバーなど県南地方で撮影。10分前後の動画作品4話に編集した。

同日午後、3回に分けて上映が行われ、一般客や関係者ら約130人が作品を鑑賞。午後3時半からの上映では作品が終わると、観客から大きな拍手が沸き起こった。主人公役を務めたHAYATEさん(23)は取材に「子どもたちに憧れてもらえようという思いで映像を作ろうと思っ



午後3時半から行われた2回目の上映後にあいさつする出演者

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。